

SSKU

2022年度
春号

お元気ですか？ イリアンソスです。



Page2 理事長の散歩道

Page3 特集「みんなの散歩道」

Page6 活動報告

Page7 職員のひとことリレー

「文化の継承」〜夕涼み会の開催に向けて〜

社会福祉法人イリアンソス 理事長 磯部光孝

四月十五日金曜日雨の中、市内にある学芸大附属特別支援学校（以下、学大附属）に行ってきた。コロナ以前やっていた「夕涼み会」を今年はどうするかを副校長と相談するためです。「夕涼み会」は市内の障害関係の事業所と学大附属の共同で、学校の敷地を利用しておこなう夏祭りです。市内の方ならよく知っておられる方も多いと思います。実はこの「夕涼み会」は、「このみ」の行事として障害児の幼児通園施設である「わかくさ学園」が中央町にあった時に、あの狭い園庭を借りておこなったのが始まりです。周りが畑だったこともあり、打ち上げ花火や模擬店もやっていたのは、学大附属に移ったのは、二十数年前、東久留米駅の北口に障害者施設が移転することになった時、市民の方々から反対運動が起こったこ

とがきっかけでした。それまで市内では障害者への反対運動は全く感じられなかったもので、わたしたち関係者はとてもショックでした。反対運動が起こってからは、市民の人たちと対話ができないうと感じ、日頃から地域との付き合いを大切にしたいと思いい、その地域に近かった学大附属の当時の副校長と話し合って「夕涼み会」を校庭でおこなうことになったのです。

あれから、三十年近く毎年地域のみなさんとお祭りを楽しんできました。昨年十二月に亡くなられたうんどうぐつの竹本憲生（享年八十歳）さんも一緒に活動し、見守ってくれていました。校庭の真ん中に東京土建のボランテニアさんの手作りやぐらの設置を一週間前に。当日朝の九時から会場設営。みんなでテント張りや提灯の設置、午

後は模擬店の仕込みや打ち上げ花火の設営など、竹本さんはカキ氷をふるまい、オルガンを弾いてみんなを癒してくれていました。会場は五時くらいからお客さんも来て子どもたちの踊りやエイサー、太鼓、盆踊りそして最後に花火と大勢の方たちと一日楽しみました。

わたしたちは、竹本さんへの想いもあり何とか「夕涼み会」が出来ないかと思っていました。しかし、コロナ禍での開催は学大附属にとってリスクがあり、難しいとあきらめに近い思いでした。とにかく学校側の意向を聞くことが大切と考え、副校長先生にお話させていただきました。すると、先生から規模を縮小すれば出来るのではないかと即答してもらいました。コロナ禍で学校の行事が二年間もできない状況の中、先生方の異動もあり行事



特集

みんなの散歩道

今回の特集は、「理事長の散歩道」にヒントを得て「みんなの散歩道」と題して通所事業所の散歩のようすを紹介します。気候も暖かくなり、花も色鮮やかに咲いて屋外を歩くのには最高の季節となりました。新年度、初号のイリアンソス広報誌は、ゆったり、のんびりと散歩からスタートします。今年も一年間よろしく願います。



【活動センターかなえ】 季節を感じながら

活動センターかなえでは、身体を動かす目的もちろんあります。外に出て太陽の光を浴びたり、季節ごとの気候・草木を楽しんだりするよう週の活動やレクに散歩(ウォーキング)を取り入れています。

近所には広大な敷地の都立六仙公園があります。梅やオオイヌフグリ、モクレンなど春の花を眺めながら歩いたり、日向ぼっこしたりとゆつくりできる時を大切にしながら活動しています。桜やチューリップなどもたくさん咲いて季節を五感で感じることができます。少し足を伸ばすと、ブランコなどの遊具も楽しめる東村山運動公園、けやき並

木が綺麗で車両の進入も少なく安全に歩ける小平霊園なども活用しています。

レクリエーションでは、狭山公園や大寺植物園などにも出掛けています。

活動センターかなえの皆さんは健脚揃いで歩くことが大好きな方がたくさんいます。活動を重ねていくにつれて目的地も増えていきました。場所が変わると気分も変わって仲間やスタッフとの会話も弾みます。室内での作業と屋外での散歩は一日のメリハリがついて気分転換にもなる大切な活動として定着しています。





【なかまの家】

地域の特色を活かしたコース

なかまの家の場所が東久留米市の中心部に位置している為、市内の散歩コースへのアクセスが良くバリエーションも豊富です。夏の暑い日は、市役所に行つて、ロビーで涼んでから帰ります。乗り物が大好きなSさんは、道路に出てバスが見えると両手を振つて大喜びです。

消防署もすぐ近くにあり、ロープを使って壁を降下していく救助訓練に毎回目がくぎ付けになります。東久留米市は湧水の街で市内に八十か所以上の湧水が存在します。落合川の景色を眺めながら二十分程歩くと、水辺公園があり、陽当たりが良く静かな空間で、ベンチで一休みするには調度良い場所です。又、その手前に藤棚と池のある、更に小さな公園があります。季節の花に囲まれた池に

は、カワセミが飛んで来る程、自然豊かな、心地良い空間です。

近隣以外では、活動センターかなえも散歩している小平霊園に出掛けます。秋は紅葉や彼岸花も綺麗です。とにかく広く開放感に包まれて、安心して思い切り歩けるので、よく足を運びます。散歩の目的は、活動センターかなえと同じく、外気に触れる事によって、心身共にリフレッシュし、季節を感じながら、五感を刺激します。散歩に出掛けると心も軽やかにになり、会話も弾みます。仲間と一緒に歩く事で、歩調を合わせ、待つ事や相手のペースに合わせる事も自然に出来ます。今年度も沢山歩いてみんな元気に過ごせますように。



【のぞみの家】 それぞれの散歩道

のぞみの家は三班それぞれ行く場所が違うので班ごとにご紹介いたします。まず、おひさま班は毎週月曜日に自治会を行い、お天気や気温を調べて散歩に行ける日の日程を決めます。行くメンバーはその日の利用者さんの体調をみて二人三人黒目川沿いの遊歩道に行くことが多いです。川沿いを歩いたり、写真を撮ったり皆さん楽しそうな笑顔いっぱい



いの表情が沢山撮れます。たんぽぽ班は外の活動を中心とした班なので、お天気がいい日は毎日でも午前・午後と散歩に行きます。回収の仕事の後に目黒川沿いの遊歩道に行きます。小山の芝生にシートを広げて座ったり、ベンチに座って色々な車を見たり、車椅子から降りて歩いてみたりそれぞれ利用者さんに合わせた過ごし方をしています。

チャレンジ班は銀行仕事を歩いて行ったり、他の班と一緒に散歩に行ったりする事が多いです。

各班、予報が外れて散歩日和の日は屋上散歩と題してのぞみの屋上から見える富士山を見に行くこともあります。この季節の雲一つない青空に山頂に雪が残っている富士山は絶景です。そして桜の季節は目の前に広がる白山公園の桜を見に行くのが皆の楽しみの一つです。



活動センターかなえく給食の取り組み

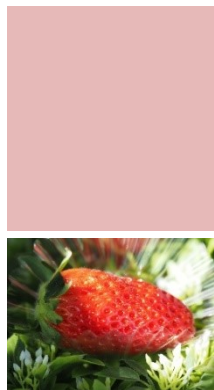
利用者さんより「カレーが食べたい」と意見があり、栄養士と相談して、月一回給食の日「カレー」が始まりました。

現在は月二回給食の日があり、献立もカレー、麻婆野菜丼、シチューと増えてきました。昨年はちゅーりっぷ班で育てている野菜を給食の具材にしてもらい楽しく食べることができました。手づくりの昼食を食べることができ、いつも楽しみにしています。



のぞみの家く屋上でいちご狩り

のぞみの家で「ビンゴ大会&いちご狩り」イベントを開催しました！昨年度に引き続き、感染症の影響で実施困難になってしまった宿泊旅行に代えて実施したイベントです。今年は、のぞみの家の屋上にいちご畑を設置して皆さんでいちご狩りを楽しんでもらいました。二種類の大きないちごを目の前に食べる手が止まらないといった方も多かったです。午前中にはビンゴ大会も開催し、みんなで大盛り上がりでした。いちごのお土産もただで自宅や寮に帰られた後も、楽しめました。感染状況は先が見えませんが、その中でいつもとちがった雰囲気です。リフレッシュでき、楽しく過ごせるイベントになりました。





のぞみの家 (生活介護)

小川ひろみ(23年目)

純粹に人と関われる仕事をしたいとの
思いで福祉の仕事に足を踏み入れ、早
二十数年。初めてののぞみの家に来た時
に真っ先に走り寄ってきてくれた利用
者さんの満面の笑顔は今でも忘れませ
ん。みんなの温かさに包まれながら毎
日を過ごしています。
私が当初から変わらず大事にしてい
ることは、何事も前向きに、一生懸命
に。支援の仕事に正解はなく、これでよ



活動センターかなえ (生活介護)

三沢茅鶴(6年目)

私が支援で大切にしていることは、
利用者さんとの関わり方です。
入職して直ぐは、どうやって関われ
ばいいのか悩む時期がありました。職
員さんやパートさんが利用者さんど
のように関わっているのかを見て大き
なヒントを頂きました。
入職し六年ほどが経ち、自分なりの
関わり方を見つけて事が出来ました。
一人一人に合わせて、分かりやすく伝
えることを大切にしています。一緒に

職員のひとことリレー

VOL 10

前回、職員からのリレーです。
『仕事で大切にしていること』今回は、通所の職員
です。

かったのかな？と悩んでばかりです。なので、
利用者さんがいい表情を返してくれた時には
いい支援ができたかな？と思いつつも、そこで
満足はせず、もっといい支援ができるように前
向きな姿勢を持ち続けたいと思います。
そして、一番最初に感じた「福祉の仕事って
楽しい！」という気持ちを忘れずに、みんなと
一緒に楽しく元気な毎日を過ごしていきたい
です。

お話しをしていて、利用者さんが笑顔になるこ
とが私にとって喜びに感じます。これからも利
用者さんと向き合う時間を大切にしていきたい
です。

☆助成金の御礼 (東京馬主協会) ☆

活動センターかなえでは、東京馬主協会様より助成金を賜り、「ひまわり号 (ハイエース)」の購入をすることができました。

朝夕の送迎や物品配達や市報配布などの活動に大活躍のひまわり号です。利用者・スタッフ一同大変喜んでおります。ありがとうございました。



ご寄付をいただきました (3月末まで)

法人各施設にご寄付をいただいております。誠にありがとうございました。

いただいたご寄付は法人各施設の充実や、将来構想の資金として大切に使用させていただきます。

藤田祐子様 小寺あずみ様 梅原雅子様

社会福祉法人イリアンソス

●のぞみの家

東久留米市下里 2-7-18
042-473-9027
042-473-9036 (F)
nozomi@iriansos.or.jp

●活動センターかなえ

東久留米市南沢 2-20-51
042-452-6405
042-452-6415 (F)
kanae@iriansos.or.jp

●なかまの家

東久留米市中央町 2-1-47
042-472-7130
042-444-3722 (F)
nakama@iriansos.or.jp

●生活寮「うみ」「そら」

東久留米市下里 4-2-7
042-476-3400 (F兼)
sora@iriansos.or.jp

●生活寮「にじ」「かぜ」

東久留米市下里 5-10-10
042-420-9943
kaze@iriansos.or.jp

●このみ

東久留米市幸町 3-8-23
042-473-9667

～編集委員のつぶやき～

季節もあたたかくなってきました。草木も生き活きと新緑を伸ばす中、外出したい気持ちと自製の気持ちで揺れ動いている人も多いと思います。あと少し、もう少しみんな頑張りましょう。早く大手を振って釣りに行きたい。

花形優 (活動センターかなえ)

《発行》

特定非営利法人障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-1

ヴェルドゥーラ祖師谷 102号室

Tel 03-6277-9611/Fax 03-6277-9555

《企画、編集》

社会福祉法人 イリアンソス

〒203-0043 東京都東久留米市下里 2-7-18

Tel 042-473-9027/Fax 042-473-9036

《編集委員》

磯部光孝・多田由美・吉田遊佑・福田恵

中西亮太・疋田史江・花形優

松森大輔・廣智章・吉坂慧佑

※ホームページからもご覧いただけます。

イリアンソス



定価100円

表紙の写真

本文中に載せきれなかった散歩のようすです。

挿絵：くらげ (ペンネーム)